

2016年 新年のご挨拶

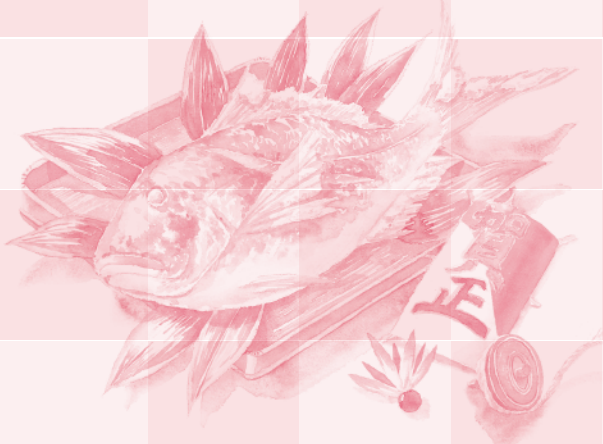
この業界に身を置いていて今更ながら痛感するのは、マーケットの変化のうねりの大きさと速さです。数年前までメガ・トレンドであったアプリケーションが、技術の進化と市場ニーズの波を受けてダイナミックに変貌していきます。今後のエレクトロニクス業界を強力にドライブしていくアプリケーションは、言うまでもなくIoTと自動車でしょう。どちらも今後大きな成長が期待されるアプリケーションであると同時に、日進月歩のテクノロジー進化と激しい市場競争の波にさらされていますので、システム開発のスピードを劇的に向上させなければ、波に乗る前に転覆ということになりかねない厳しい世界です。そして、両アプリケーションに共通するキーワードは、Quality、Safety、Securityです。

シノプシスは、システム開発の時間軸を大幅に短縮する、すなわち「シフトレフト」を実現するためのソリューションの提供に注力しています。システムが仕様と合致したものになっているか、Qualityは保っているのかを短期間で高精度に検証できる技術の有無が製品開発の鍵を握るからです。各種の検証エンジンそれ自体は大幅に進化していますが、それらを単に寄せ集めて使っているだけでは開発期間短縮は望めません。それらを有機的に統合して、オーバーヘッドを極限まで最小化できる検証プラットフォームが必要です。それがシノプシスの提供するVerification Continuumプラットフォームです。シミュレーション、スタティック・フォーマル検証、VIP、FPGAベース・プロトタイプ、仮想プロトタイプ、エミュレータといった最新鋭の検証テクノロジーをUnified CompileそしてUnified Debug環境で統合し、ヒューマンエラーの元になる作業や工数がかかるプロセスを自動化した新しいソリューションです。

またシステム機能の実現にあたって重要な役割を果たすソフトウェアの存在も忘れてはなりません。ハードウェアの複雑化に伴って、ソフトウェアのコード量も爆発的に増加しています。従来と同じ開発手法でQualityを保つのは不可能といわざるを得ません。ここでも「シフトレフト」を実現する必要があります。十分なQualityチェックがなされないまま完成した膨大なコードに潜む問題点が開発最終段階のテストで判明すれば、開発期間にも開発コストにも致命的な打撃となります。シノプシスは、開発初期段階でのソフトウェアの不具合検出や機能テスト最適化を行うツール群で、この問題へのソリューションをご提供しています。

そしてIoTと自動車ともに避けて通れないのがSafetyとSecurityの問題です。ウェアラブル・デバイスであれ、スマート・カーであれ、ひとたびネットにつながればハッカーの標的となります。心臓モニタを身につけた人が、スマート・カーを運転して自宅に帰り、寝室からネットバンキング、これらすべての行動がセキュリティ・ホールによって脅威にさらされます。こうした問題に対処するため、ソフトウェア・コードあるいはWebアプリケーションに潜む未知 / 既知の脆弱性を検出するソリューションをご提供し、セキュリティ強化とコード品質の向上に貢献しています。ハードウェア開発に関しては、Security IPやEnhanced Security Package オプションをご提供しています。

シノプシスは、エレクトロニクス・マーケットの動向をいち早く捉え、必要となる開発技術をどこよりも早く用意して、開発者の皆様を強力にバックアップしてまいります。本年も、どうぞ宜しくお願い申し上げます。



日本シノプシス合同会社
社長 藤井 公雄